



かさま

No.473

横浜市立笠間小学校

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kasama/>

笠間小学校長

笑顔輝く笠間小

秋分が過ぎ、秋風が心地よく感じられる今日この頃です。日の入り時刻も日に日に早まり、日が沈むと、虫の音があちらこちらから聞こえてくるようになりました。

新型コロナウイルスについては、まだ予断を許さない状況ではありますが、感染症対策をしながら1学期にはできなかった行事が少しずつ実施できるようになってきました。9月初旬に、まず5年生が「心の教育ふれあいコンサート」と「愛川体験学習」に行ってきました。今年度は愛川体験学習を日帰りの活動としましたが、どちらの行事も、「本物にふれる」「実際に体験する」ことができ、「百聞は一見に如かず」の言葉通り、教室だけでは得られない学びがたくさんありました。学校行事は、「人間関係育成」「社会参画」「自己実現」などの資質・能力を育てる重要な活動です。今後とも感染症対策を徹底し、子どもたちの健康・安全に十分留意しながら、充実した学びに向けて学校行事を実施していきますので、ご理解ご協力のほど、よろしく願いいたします。



表題は、児童代表委員会で決まった令和2年度の児童会スローガンです。このスローガンに込めた思いを児童運営委員長（6年）に聞いたところ、「『笑顔』という言葉には、明るい、楽しい、元気などの意味が込められています。また、『輝く』は、笑顔がいつそう輝いたらよりよい笠間小になると考えたからです。ぼくはみんなが笑顔で過ごせる学校にしたいです。」と答えてくれました。笠間小学校の子どもたちみんなで、このスローガンの達成を目指し、日頃の学習や学級生活、学校行事に力を発揮して行ってほしいと願っています。

さあ、いよいよ明日は運動会です。今年の運動会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、午前中のみ、学年ごとの参観者入れ替え制で開催することになりました。お家の方や地域の皆様には、例年のような形で子どもたちの活躍する姿を見ていただくことができず、たいへん残念です。しかし、このような状況下でも、子どもたちは日々前向きに練習に取り組んでいます。徒競走は既に学年ごとに行いました。得点係の児童が、毎給食時間に校内放送で徒競走の点数を知らせています。放送が流れると、いつもは静かな給食時間に歓声が沸き、一瞬にぎやかになります。本日時点で赤組732点、白組711点だそうです。「けがの功名」ではないですが、1日開催が当たり前だった運動会を「運動会週間」とし、毎日得点を発表するという方法でも、子どもたちの気持ちの盛り上がりを感じることができました。



今回は、参観の皆様から大きな声援をいただくことはできませんが、全力で頑張る子どもたちに、どうぞ温かい拍手での応援をよろしくお願いいたします。また、これまでお家の方には、子どもたちの体調管理や励ましの声かけなど、たくさんお力添えいただき、どうもありがとうございました。こんなときだからこそ、お互いの頑張りを称え合い、「笑顔輝く」運動会となるよう、教職員一同、精一杯支援していきたいと考えています。
【写真：1年生の徒競走より】